

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ

(創立1959年11月12日)

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ イマジン ロータリー

R.I.会長 ジェニファーE・ジョーンズ
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ

- 会長 矢島 康夫 ●副会長 小幡 晃大・三井 英和
- 幹事 櫻井 雅文 ●会報委員長 酒巻 弘



第2886回例会 (令和4年10月31日)



ホームページQR

[ゲスト紹介]

ゲスト紹介をさせていただきます。

ボーイスカウト上田第5団
出田行徳様、ボーイスカウト上田
第13団 小川實様、ガールスカウト
長野県第5団 山田桃子様、
ガールスカウト長野県第25団 村瀬知穂様。

以上の皆様でございます。

矢島康夫 会長



[ボーイスカウト・ガールスカウト賛助金贈呈式]

各団長の挨拶



[会長挨拶]

本日は上田ロータリークラブが永年取り組んでおります、青少年奉仕活動の一環としてのボーイスカウト・ガールスカウトの皆さんへ賛助金の贈呈をこの後行いたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

それではクラシックホテルの会の第5回目、東京ステーションホテルをご紹介します。

1872年10月14日に新橋横浜間の鉄道が開業して今年で150周年になります。新橋から上野間を結ぶ高架鉄道の途中に中央停車場を建設することになりまして、地下1階地上3階建ての赤レンガ造りの駅舎が建設され、皇居の正面になる為「東京駅」と命名され、これが1914年に開業いたしました。

矢島康夫 会長



その翌年1915年(大正4年)に駅舎の2階と3階を利用して東京ステーションホテルが開業しております。関東大震災では大きな被害も受けなかったという事です。第二次世界大戦の空襲で屋根全体が被害を受け、戦後の復旧工事で3階建てから2階建てに修復されました。これは2006年までありましたので皆様もご記憶にあると思いますが、ドームの形が今は8角形の丸いドームになっております。当時は直線の8角形のドームだったのを覚えてられる方もいるかと思いますが、そこの1階と2階部分だけで60年間改装を続けながら営業をしておりました。

2006年から2012年にかけて創建当時の復元工事が実施されて、再び2階3階そして一部4階建てという駅舎に生まれ変わりました。客室は以前と違いまして最新鋭の設備を備えております。丸の内側いわゆる皇居側、それと東京駅のホーム側、そして南北に2つあるドームの周りにドームサイトという客室があります。この客室は窓から下のコンコースが眺めることができます。そして上に目をやれば8角形の隅に8個の干支のレリーフが埋め込まれております。これは本来干支ですから4つ足りないという方は方角別に入れてある為、4つ足りないのだそうです。その4つはどこにあるとか下闇にあるとか、聞く事もございます。それからその赤レンガはですね、レンガの装飾部分は違うんですけど中の基本的な部分は深谷の渋沢栄一が作ったレンガの工場から運ばれておりまして、今深谷駅がちょうど東京駅を模したようなレンガ造りの駅舎になっています。

あと今回の改装で駅舎のちょうど中央部分の一番上の三角屋根になっているところが4階部分ということで、ここにアトリウムというゲストラウンジができました。朝食はここで食べることになります。ここの朝食は毎年行われる「朝食の美味しいホテルランキング」で結構上位に選ばれており、種類も多く味も大変良い朝食をとることができます。結構人気があり予約が取り難いホテルの1つになっておりますが、東京で宿泊するおりには一度ドームサイトの部屋を予約していくのが良いかと思います。

以上でございます。

●例会/毎週月曜日 12:30~13:30 ●会場/ささや=上田市中央2丁目(大門町)

●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711

e-mail : ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp

[ゲストスピーチ]

ボーイスカウト上田 第5団
団委員長 出田行徳様

日頃から、地元のボーイスカウト、ガールスカウトへの継続したご支援、誠にありがとうございます。上田第5団では、皆様からのご援助は、野営資材、活動資材の購入や、子ども達を指導する、成人指導者の育成などに使わせていただいています。

COVID-19の影響で、活動方法を大きく変えざるを得ない状況で、新たな資材が必要になってきています。例えば、野営用テントですが、今までのボーイスカウトキャンプは、異年齢の数名が班を作り、協力して生活していくので、多人数のテントを必要としていました。しかし、COVID-19感染予防の為、一つのテントに一人で寝ることを進めています。今月もキャンプをしましたが、4~6人用の大きなテントに一人で寝る事は、かなり寒く、小学生では、夜、怖くなる子もいました。また、食事も、今まで大鍋で作っていた料理を分けていましたが、一人一人が自分の食事を作るようになっています。このように、環境と対象の子ども達の変化に合わせ、ボランティアで指導してくれている指導者も、新たなスキルや、教育方法を取得する研修も、重要なっています。

皆様からご支援いただいた淨財は、その為に使わせていただき、次の世代を担う青少年の育成を目指しています。本日はありがとうございました。



ボーイスカウト上田 第13団
団委員長 小川 實様

本年も青少年育成の為に助成金を賜りありがとうございます。

当團に於いては皆さまご承知の様にコロナウイルス感染症の為、注意レベルの高低によって活動の可否が左右され、スカウトが行う進歩プログラムもまともに行う事ができませんでした。

その様な状況の中でも、多少なりともスカウトの為の進歩制度プログラム(スカウト精神、健康と発達、スカウト技能、スカウトとしての社会参加の社会生活)を行っているところです。

今年は4年ごと開催される第18回日本スカウトジャンボリーが8月6日から5泊6日で東京の中央会場と他5地区のサテライト会場(宮城・埼玉・茨城・神奈川・熊本)で行われました。

他の県連盟は、ジャンボリーサマー2022と位置付けて独自のプログラムで行われました。長野県連盟はジャンボリーサマー2022での参加となり、細分化され4地区東信、北信、中信、南信での4地区での開催になりました。



た。事故もなく、コロナの発生もなく無事に終了する事ができました。

また今年は日本連盟100周年の記念の年にあたり5月28日、29日に兵庫県の姫路市アクリエひめじにて記念式典が執り行われました。またスカウティングエキスポやステージ発表があり2日間で962人が参加し情報交換や交流が行われました。

また100周年の記念誌、記念切手(全国の郵便局1シート840円での販売)が7月27日に合わせてありました。

毎年9月に行われます環境美化活動、スカウトの日(今年は19日)に、ごみゼロ運動・カントリー大作戦・地球大好き、とテーマを変えながら環境美化活動を続けてきましたが、今年はテーマも新しくプラごみバスターズ大作戦と名付け、小さなプラごみまでも見逃さないカントリー大作戦を各地区、各場所で行います。

この様にコロナ渦にあってもなんとか活動を進めて行きます。1個人の小さな力でもスカウト、リーダー、保護者、全員参加で行うつもりです。

本日は大変ありがとうございました。これからも頑張ってスカウト活動を続けてまいります。今後もよろしくお願いいたします。

ガールスカウト長野県 第5団
プラウニー保護者委員 山田桃子様

本年もガールスカウト第5団へのご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

本日は岩岡智子団委員長が所用のため、代理で出席させていただきました、保護者委員をしております山田桃子と申します。



現在小学3年生の長女が年長のときにガールスカウトに入団いたしましたので、今年で4年目になります。

今年度も集会は月2回日曜日に行っており、テンダーとプラウニーの10名で活動しております。

保護者としての活動のご報告をさせていただきます。

第5団では毎年季節ごとのイベントのほか様々な活動をしており、4月はウクライナ募金を上田城の入り口で行いました。

長女にとっては初めての街頭での募金活動でしたので緊張していましたが、地域の方や武将隊の方々、海外の方からも応援していただき無事に募金活動をすることができたようです。

皆様のあたたかいご支援を大変ありがたいと感じました。

5月には上田映劇に映画を観に行き、上田の街を散策しながら上田駅まで歩きました。商店街を見て歩くことで普段は車で通りすぎてしまう場所で新たな発見があり、上田の街を今までより身近に感じることができたようです。

7月には団キャンプを小諸ユースホテルで行いました。

今年は野外にクッキングテントを立て、こどもたちが相談して考えた献立の料理を作りました。火おこしや飯盒でご飯を炊き野菜を切ってスープを作ることができました。

コロナ禍ですので皆で集まってのテントでの宿泊は今

年もできませんでしたが、お部屋の二段ベッドの楽しさや皆と話したことなどを家に帰ってから楽しそうに話していました。

11月にはブラウニーの3年生を対象とした宿泊が、なべくら高原森の家で行うようで、そちらも楽しみしております。

また今年は年間を通じでのテーマが「水について」なので、11月の集会では柳町の保名水から水琴窟まで歩き、上田のお水がおいしい理由のおはなしを聞かせていただくという内容の活動を行う予定です。保護者の私も知らなかったことや気付かなかったことに子供のうちに触れることができるるのは本当にありがたいことと思います。

12月はガールスカウトフェスティバルが上田で開催予定なのと、マルチメディア情報センターでのクリスマスイベントへの参加も予定しているので、また新しい仲間が増えてくれるようなイベントにできたらいいなと思います。

今後も団の人たちと協力してスカウトの活動をサポートしていきたいと思います。

本日はありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

ガールスカウト長野県 第25団 団委員長 村瀬知穂様

上田ロータリークラブ例会にご招待いただき、また毎年手厚いご支援をいただきありがとうございます。団委員長の村瀬知穂と申します。昨年度より団委員長になり、初めての人の前でのスピーチをさせていただいたのも、この例会であり、1年が経つ速さを感じています。わからないことがあります、一つずつ団委員長としての役目を果たせられるようを行っているところです。今後ともよろしくお願ひします。この1年での25団の活動報告をさせていただければと思います。

ガールスカウト長野県第25団は今年度テンダー部門(就学前児)の入団が1名あり、子ども13人とリーダー4名、リーダー以外の保護者を含め成人21名で活動しています。

昨年に比べWITHコロナの中で感染対策をしながら活動も実施できています。小学高学年部門での長野県連盟の戸隠キャンプに2名参加しました。参加にあたっては4月からの集会でキャンプ訓練を実施し、テントの立て方、クッキング、ロープワークなどを行い、7月下旬に2泊3日で参加してきました。また中学高校生部門では2020年に日本のガールスカウト運動100周年を迎える記念インターナショナルキャンプが今年開催されました。全国7カ所で8月4日~22日の期間中に4泊5日で開催され、25団からも中学生1名が赤城会場、高校生2名が大雪会場に参加してきました。それぞれの会場で仲間とのSDGsに関する活動を通じ、屋外での活動を体験し、自分ができることを発見し、SDGs達成のための行動を促進することをキャンプ後も事後課題に取り組んでいきます。県外の多くの友達もでき、たくさんの事を吸収してきました。団でも報告会を実施予定で、中高生のお

姉さんの発表を聞き、小学生のスカウト達にも伝えていき、団以外での活動にも興味をもってもらい、長くスカウト活動を続けてもらえばと思っております。

25団でもスカウト減少などあり、コロナ禍での新規加入に苦慮していますが、スカウトたちが学校以外の場所で活動できる場として、今後も活動していきたいと思いますので、ロータリークラブ様の力など、お力添えをいただきながら今後も活動していきたいと思いますので今後ともよろしくお願いします。

「ロータリーの友」紹介】

雑誌委員会 土屋勝浩 副委員長

それでは左開き横書きのP7をご覧ください。10月7日からの一週間は「ロータリー学友参加推進週間」ということで、特集として元米山奨学生 佐古ウスピさんのインタビュー記事が載っています。佐古さんは西アフリカ・マリ共和国の出身で、国費留学生として日本に渡り、現在は日本国籍を取得し、京都精華大学学長として活躍をされております。



いきなり「私、空気は読みません」という衝撃的なタイトルから入っていますが、日本の課題として多様性への提言がされています。

母国マリでは「迷惑をかける」という言葉は「お互いに気を許しあう」という一面があるようです。つまり、迷惑をかけられない人は他人に気を許すということもできないことになります。

日本で米山奨学生として面倒を見てくれたのは京都北クラブの尾野内悦次郎さんでしたが、彼にはこれまで数え切れないほどの迷惑をかけてきたそうです。ただ、尾野内さんがその迷惑を受け入れてくれたことで、今でも家族ぐるみの交流ができているということです。佐古さんが2018年に京都精華大学の学長に就任した際は、尾野内さんが中心となって盛大なパーティーを開いてくれたそうです。

私たち日本人は相手に迷惑をかけないようにと気を遣って生きていくことが美德と考えがちですが、佐古さんの理論からすると、迷惑をかける程人間関係は深まっていくということになります。

上田ロータリークラブも迷惑を迷惑と思わず、気兼ねなく家族のように過ごせる家のようない存でありたいものです。

20ページからは、生菓子製造業を営む鎌倉クラブの久保田英男さんによる「ムシのいい話」というコラムが掲載されています。

秋の味覚の代表にサンマがあります。私たちは、刀の形に由来することから「秋の刀の魚」と書いてサンマと呼んでいますが、実はこの表記が定着したのは大正時代からだそうです。それ以前は、「魚偏に祭り」と書いてサンマと呼んでいました。何でも、川岸にサンマが揚がるとお祭り騒ぎになったことからこの字が使われていたということ…雑学として覚えておくといいですね。

また、牡蠣も美味しい季節となります。実は、この牡蠣が日本とフランスの友好の証であることを皆さんはご存じでしょうか。1960年代、貝の病気で一時フランスの牡蠣が全滅しかけました。それを救ったのが日本の三陸の養殖業者だったそうです。それから約半世紀後の2011年、東日本大震災が発生し、三陸の牡蠣養殖も大打撃を受けました。その危機を救ってくれたのがフランスの牡蠣生産者だったのです。そのおかげで今でも私たちは三陸産の美味しい牡蠣に舌鼓が打てるわけであります。こんな友情話を聞くと今夜も牡蠣とワインで一杯やりたくなっています。

因みに、上田とフランスにも同じような友情の話があります。1860年代、フランスでは蚕の疫病が蔓延し、全滅寸前となりました。それを救ったのが日本の養蚕業、特に当時「蚕種」と呼ばれる蚕の種の大生産地であった上田の種が、横浜港から大量に送られてフランスの養蚕業を救ったという記録があります。その後、フランスは日本からの留学生を暖かく受け入れ、当時の留学生であった三好米熊らにより、今の上田東高校の前身である「小県蚕種」、信州大学織維学部の前身である「上田蚕糸専門学校」が開かれることとなりました。「ロータリーの友」の原稿にはありませんが、上田に住む者として覚えておいていただきたいと思います。

[幹事報告]

櫻井雅文 幹事

1. R I the rotarian 11月
2. 上田東R C
東信第二グループ会長エレクト・
次期幹事打合せ会ご案内
3. 丸子R C
2020-2023年度上田・丸子ロー
タリークラブ合同ホームコンペご案内
4. 信州民報
世界ポリオデーに合わせポリオ募金
上田ロータリークラブ、上田市手話奉仕員・養成講
座運営委員会へパソコン贈呈
5. 東信ジャーナル
ポリオ撲滅へ 上田で啓発や募金呼びかけ
上田ロータリークラブ、上田市手話奉仕員・養成講
座運営委員会へパソコンを贈る



[ニコニコBOX]

関 勇治 委員長

石井懋人さん 出田行徳さん
伊藤典夫さん 小幡晃大さん
金子良夫さん 桑原茂実さん
小林秀茂さん 小山宏幸さん
酒井喜雄さん 酒巻弘さん
櫻井雅文さん 滋野眞さん
関啓治さん 関勇治さん 滝沢秀一さん 田邊利江子
さん 田原謙治さん 南部宏樹さん 布施修一郎さん
矢島康夫さん 米津仁志さん 保科茂久さん



本日喜投額 21名 ¥ 24,000
累 計 ¥692,000

[例会の記録]

司会：石田眞人 会場・出席委員

齊唱：ロータリーソング「四季の歌 秋」

●ボイスカウト・ガールスカウト 賛助金贈呈式

●「ロータリーの友」紹介 雜誌委員会 土屋勝浩 副委員長

●会長挨拶

●幹事報告

[ラッキー賞]

南部宏樹さん(出田行徳さんより紅葉饅頭)

関 勇治さん(桑原茂実さんより冷凍餃子)

出田行徳さん(滋野眞さんより雪中梅)



[出席報告]

石田眞一 委員長



	本日	前々回 (10/17)
会員数	58	58
出席ベース	53	54
出席者数	40	43
出席免除(b) ()内は出席者数	7(2)	7(3)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ()内は Make up 後	4(49) コロナ欠席2	
出席率	81.13	90.74

[本日のランチ]

●牛すき焼き

●海老フリッター チリソース添え

●中華風 茶碗蒸し

●ご飯

●味噌汁

●ぶどう(巨峰・シャインマスカット)



[次回例会予定]

11月14日(月) 上田R C創立記念日夜間例会

(11月7日発行)

【会報担当】高橋 鼓 会報委員